

入間市児童発達支援センター 令和2年度事業の運営状況

1 児童発達支援事業

(1) 児童発達支援「元気キッズ」

5月まで利用を休止し、孤立防止のため電話での支援を実施しました。（電話での支援件数 4月108件、5月127件）

6月から午前午後に分けての分散利用を開始、7月から通常利用を開始しました。再開にあたり、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定し、対策を行っています。

① 在籍児童数（令和2年10月31日現在 実数）※年齢は4月1日現在

年齢		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
クラス	ピンク（重症心身障害児・医療的ケア児等・親子通所）	0	1	2	1	1	2	7
	みどり（0～2歳・親子通所）	0	1	7	0	0	0	8
	きいろ（3～5歳・単独通所）	0	0	0	5	7	4	16
	あお（3～5歳・単独通所）	0	0	0	6	7	3	16
計		0	2	9	12	15	9	47

② 在籍児童数（令和2年10月31日現在 延べ人数）※年齢は4月1日現在

年齢		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
利用曜日	月曜日	0	0	1	5	3	5	14
	火曜日	0	2	3	3	4	1	13
	水曜日	0	0	3	5	3	3	14
	木曜日	0	1	3	4	2	1	11
	金曜日	0	0	4	1	8	2	15
計		0	3	14	18	20	12	67

③ 利用実績（令和2年10月31日現在 延べ人数）※年齢は4月1日現在

利用月	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
4月	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
5月	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
6月	0人	13人	12人	44人	56人	24人	149人
7月	0人	11人	15人	37人	58人	16人	137人
8月	0人	5人	15人	29人	42人	16人	107人
9月	0人	10人	48人	40人	72人	17人	187人
10月	0人	11人	55人	52人	80人	26人	224人
計	0人	50人	145人	202人	308人	99人	804人

④ 過年度実績との比較

	1 日あたり定員	在籍児童数	利用実績
令和 2 年度（4～5 月休止、10/31 現在）	26 人	47 人	804 人
令和元年度（3 月休止）	20 人	37 人	1169 人
平成 30 年度	20 人	43 人	1862 人

（2）保育所等訪問支援

5 月まで利用休止、6 月から利用開始しました。4 名の児童が利用しています。

利用状況（令和 2 年 10 月 31 日現在）

No.	利用児童（訪問先施設）	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	計
1	保育所 0 人			0	0	0	0	0	0
2	保育園 2 人			0	0	0	1	1	2
3	幼稚園 1 人			0	0	0	0	0	0
4	学童保育室 1 人			0	1	1	1	1	4
計		4 人	0	0	1	1	2	2	6

（3）日中一時支援

5 月まで利用休止、6 月から利用開始しました。8 名の児童が利用しています。

利用状況（令和 2 年 10 月 31 日現在）

No.	利用児童	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	計
1	未就学児 6 人			0	1	4	13	32	50
2	小中学生 1 人			0	0	4	3	3	10
3	15～18 歳 1 人			0	0	0	0	5	5
計		8 人	0	0	1	8	16	40	65

2 相談支援事業

（1）相談支援

4 月から窓口を開設し、保健師・保育士・指導主事・社会福祉士による初期相談を行っています。

① 相談受付件数（令和 2 年 10 月 31 日現在 延べ対応件数）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	計
件数	13	15	50	66	44	56	39	283

② 相談対象の年齢層（令和 2 年 10 月 31 日現在 延べ対応件数）

年齢層	0～6 歳	小学生	中学生	高校生	不明	計
件数	171	85	28	7	4	295

③ 相談内容（令和2年10月31日現在 延べ対応件数）

相談の類型	件数	相談事例
療育	39	「療育を利用したい」
学習支援	25	「授業についていけない」
不登校	25	「登校しづり」「登校していない」
就学相談	20	「就学先（普通級、支援級、支援学校）の選択」
発達について	117	「相談を勧められた」「気になるところがある」
その他	69	
計	295	

④ オンライン相談支援

外出、対面による感染リスクを避け、在宅での相談支援を充実するもの。

重症心身障害児、医療的ケア児等の外出が難しい児童や中高生等、窓口での相談につながりにくい方や、来所する時間がない方に相談の機会を広げる入口としての活用も見込みます。新型コロナウイルス感染症拡大防止施策として、開始に向け準備中です。

ア オンライン相談支援

インターネット上のビデオ通話サービスを活用し相談支援を行う事業

イ オンライン講演会

発達支援に関する講義等をビデオ録画し、インターネット上での視聴に供する事業

ウ 発達支援事業者等への機材貸出

利用者とのオンライン面談を支援するため、機材を貸し出す事業

⑤ 時間外相談

月1回、午後7時まで相談受付を行います。

相談受付状況（令和2年10月31日現在）

回	月日	受付件数	回	月日	受付件数
1	5/12（火）	0	7	11/17（火）	
2	6/15（月）	0	8	12/12（月）	
3	7/14（火）	1	9	1/19（火）	
4	8/3（月）	1	10	2/15（月）	
5	9/15（火）	0	11	3/16（火）	
6	10/12（月）	1	計		3

⑥ 休日相談会

年4回、休日相談会を開催します。市職員（保健師、保育士、指導主事、社会福祉士）、専門相談員（心理師、作業療法士）が相談対応します。

相談受付状況（令和2年10月31日現在）

回	月日	受付時間	会場	来場者
1	7/18（土）	9時～16時	健康福祉センター	6組
2	11/8（日）	9時～16時	児童センター	12組
3	2/27（土）	9時～16時	健康福祉センター	
4	3/20（土）	9時～16時	児童センター	

⑦ 就学を考える会

概要	就学先進路の検討材料を提供するため、通級、支援級、支援学校に関する説明会と先輩保護者の経験談を聴く機会を設けるものです。
対象	おもに年中児（4歳児）の保護者
日程等	2/22（月）予定

⑧ 就学支援

概要	障害のある又はその疑いのある児童の就学に関する支援を行います。児童発達支援センターの指導主事（学校教育課併任）が一部を担当しており、保育士・社会福祉士は就学支援委員会の委員となっています。
対象	障害又はその疑いのある学齢児童生徒及び就学予定者
件数等	主に児童発達支援センター事業を利用する児童（9人）を担当

（2）専門相談

専門職による相談支援を行います。

相談受付状況（令和2年10月31日現在）

職種	勤務日	対応件数							対応事例
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
公認心理師	月・火曜	0	0	3	5	9	10	9	「不適切養育」「学校から脱走」
作業療法士	水～金曜	0	0	1	5	1	19	11	「施設支援」「集団生活への適応」
理学療法士	月1回	0	0	1	2	0	2	2	「肢体不自由児支援」
言語聴覚士	月1回	0	0	2	5	4	0	2	「言葉の遅れ」

### (3) 障害児相談支援・計画相談

利用計画を作成し、サービス事業者等と連絡調整を行います。児童発達支援センター利用児童9人が利用中です。

利用状況（令和2年10月31日現在）

職種	利用契約者数							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
相談支援専門員	0	0	1	1	2	3	2	9

### (4) 発達支援に係る情報の管理活用

支援を要する児童の情報を市において管理活用するものです。システムの導入を計画中です。

## 3 地域支援事業

### (1) 地域支援

#### ① 関係機関連絡会

概要	顔の見える関係を作り、地域の支援向上の基礎とするため、関係機関連絡会を開催し、情報交換、事例検討会、講演会などを行うもの。	
対象	児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所、保育所園、幼稚園、学校、学童保育室、子育て支援拠点等	
日程等	7/13（月）	児童発達支援センターの紹介、各事業所の自己紹介。 児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所等13団体（19名）参加。
	2/10（水）予定	児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所、保育所園、幼稚園、学校、学童保育室、子育て支援拠点、庁内関係課等に案内予定

#### ② 施設支援

概要	子ども未来室巡回支援と連携した施設支援。 保護者へのアプローチ、障害福祉サービスに関する情報提供、施設職員への助言、巡回支援対象外児童の支援などを行います。
対象	市内保育所・園、幼稚園（希望施設11か所）
日程等	8～11月

③ C L M研修

概要	三重県の取り組みである「C L M (Check List in 三重)」を紹介し、保育所等の現場職員による発達支援を実践する研修。児童の「気になる行動」をリスト化、対象となる行動を選定、要因と対応策の検討、実施、モニタリングのサイクルでクラス運営を支援するもの。 今年度の研修では公立保育所の事例ビデオを用いてプランの策定演習を行いました。策定したプランは保育所に持ち帰って実行し、プラン期間経過後に評価、次期プラン策定を行うサイクルで運用しています。								
対象	保育、幼稚園、学校、学童保育、子育て支援拠点、児童発達支援、放課後等デイサービス等、児童の直接支援に携わる施設職員を対象に実施。								
日程等	10/14 (水)	国立障害者リハビリテーションセンター学院での講義							
	10/15 (木)	行動観察と要因分析、個別支援計画の作成							
参加者		保育所	保育園	幼稚園	学童保育室	児童発達支援	国リハ学院	市職員	計
	10/14 (水)	11	4	0	4	3	4	6	32
	10/15 (木)	12	4	1	6	3	4	6	36

④ 中高生向け支援

概要	中高校生等の相談の受け皿としてS S Tを取り入れた事業等を行います。
対象	中高生等
日程等	未定

⑤ 学校への活動

概要	インクルージョンを推進するため学校へ出張講座などの取り組みを行います。
対象	市内小中学校
日程等	未定。新型コロナウイルスの影響で学校の日程に余裕がなく、スケジュールが困難となっています。

⑥ 休日施設開放（新規）

概要	心身の発達に遅れ又は障害のある児童親子が気兼ねなく遊べる場所がほしいとの市民ニーズに応えるため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出がままならず、親子のストレスが高まっている場合に安心して遊べる場所を提供するため、週末に児童発達支援センターの施設を開放します。				
対象	心身の発達に遅れ又は障害のある児童とその保護者（各回 5 組程度）				
日程等	回	日時		参加者	
	1	11/8（日）	午前の部 9：30～11：30	6 組（19 人）	
			午後の部 13：00～15：00	4 組（11 人）	
	2	2/27（土）	午前の部 9：30～11：30		
			午後の部 13：00～15：00		
	3	3/20（土・祝）	午前の部 9：30～11：30		
			午後の部 13：00～15：00		
協力	11/8 の運営は入間市手をつなぐ親の会に協力いただきました。 2 月、3 月についても市民団体等に依頼する予定です。				

（2）家族支援

① 保護者交流会（教育委員会共催）

概要	障害を持つ子どもを育てる保護者の孤立を防止するため、保護者同士が集まり、悩みを共有し、情報交換する機会を設けるもの。	
日程等	7/2（木）	元気キッズ・茶おちゃお・児童発達支援等の利用者（参加9名）
	7/27（月）	特別支援学級在籍児童生徒の保護者（参加5名）
	8/31（月）	通級指導教室在籍児童生徒の保護者（中止）
	9/14（月）	元気キッズ・茶おちゃお・児童発達支援等の利用者（参加8名）
	10/26（月）	元気キッズ・茶おちゃお・児童発達支援等の利用者・通級・支援級・支援学校在籍児童保護者（参加10名）
	11/16（月）	元気キッズ・茶おちゃお・児童発達支援等の利用者・通級・支援級・支援学校在籍児童保護者
運営	ういずスタッフのほか、入間わかさ高等特別支援学校・教育センター職員が参加	

② 親支援講座（教育委員会共催）

概要	通級・支援級の児童生徒の保護者を支援するため、発達の特性や進路に関する講演を行います。		
日程等	9/23（水）	障害者支援課・りぼん職員による講義（参加20名）	
	10/13（火）	スペクトラムライフ桑野代表の講義（参加37名）	
	11/10（火）	スペクトラムライフ桑野代表の講義（参加40名）	
	12/7（月）	入間わかさ高等特別支援学校見学	

### (3) 普及啓発

#### ① 世界自閉症啓発デーに伴うブルーライトアップ

概要	4/2は国連が定める「世界自閉症啓発デー」であり、世界中でランドマークのブルーライトアップが行われる。児童発達支援センターの普及啓発事業として健康福祉センターのライトアップを行いました。
日程等	4/2（木）～4/7（火） ※ 4/2～4/8の「発達障害啓発週間」を開催期間としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態となったため、4/7で中止しました。 ※ 次回は実行委員会形式で実施予定。

#### ② 講演会

概要	児童発達支援センターの利用者や一般の市民に向けた講演会を行います。「オンライン講演会」形式での開催を検討します。
日程等	11～2月を予定。

### 4 その他

児童発達支援センター開所式・愛称募集表彰式	4/4（土）中止
国立障害者リハビリテーションセンター学院連携協定締結式	3/19（木）中止